

# 政策指針実行計画 [2010-2012 年度]

ACTION PLAN 2010 - 2012

平成 22 年 8 月





## はじめに

2010年という節目の年を迎え、あいちトリエンナーレ2010や生物多様性条約第10回締約国会議（COP10）など、県が地域づくりのマイルストーン（一里塚）と位置づけ、取り組んできた主要事業が実現する運びとなりました。

一方、リーマンショックと言われた金融・経済危機からほぼ2年が経過し、本県経済は着実に持ち直しつつあるものの、雇用情勢などは依然として厳しい状況にあります。また、医療や福祉など私たちの暮らしを支えてきた社会システムにも様々なひずみが出てきており、国においては制度見直しに向けた議論も進められています。

県では、平成22年（2010年）3月、愛知の発展に向けた次なる一步を踏み出すべく、地域づくりの新たな羅針盤として、「政策指針2010-2015」を策定いたしました。

政策指針の的確な推進を図るため、毎年度、年次レポートを作成しながら、政策の進捗状況や新たに取り組むべき課題の把握などを行っていくこととしており、指針の推進初年度となる今回は、指針に位置づけた50の主要政策について、当面3か年の具体的な取組工程を明らかにする実行計画を年次レポートとして作成することといたしました。

なお、昨今の社会経済の大きな変化の中で、例えば、非正規雇用の拡大などを背景としたいわゆる格差の問題や、アジアの成長に伴う新たなグローバル社会への対応など、構造的ともいえる様々な課題が顕在化してきております。こうした課題に対しては、中長期的な観点から、地域全体で認識や目標を共有しつつ、政策を効果的に組み合わせながら、関係者が一体となって取り組んでいくことが必要なことから、今回のレポートでは、参考として、構造的課題に対する政策指針の取組を8つの政策パッケージにまとめ、分かりやすく示していくことといたしました。

県といたしましては、政策指針の基本方針として掲げた「安心、希望、そして風格ある愛知へ」の実現に向けて着実に取組を進めてまいります。県民の皆様をはじめ、関係の方々の一層の御理解・御協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成22年8月

愛知県知事 神田 真秋

# 目 次

## 年次レポートの作成趣旨と構成

主要政策 50 の実行計画 [2010 - 2012 年度]	1
今後3か年の政策実行に当たっての考え方	2
基本課題1 いのちを守る「安心・安全」の社会をつくる	
1 失業者の雇用・生活のセーフティネットの構築	4
2 地域医療の再生・強化	5
3 健康長寿あいちの実現	6
4 新型インフルエンザ対策の推進	7
5 児童虐待、ドメスティック・バイオレンスへの対応充実	8
6 高齢者の地域ケア対策の充実	9
7 総合的な自殺対策の推進	10
8 被害の半減をめざした地震減災対策	11
9 風水害・渇水への対応力強化	12
10 犯罪抑止による地域の安全確保	13
11 安心・安全な消費生活の実現	15
12 交通事故抑止対策の推進	16
基本課題2 誰もが「希望」を持って活動できる社会にする	
13 希望する人が結婚し子どもを持つことができる環境づくり	18
14 家庭と地域の子育て力の強化	18
15 学力・学習意欲と体力の一層の向上	20
16 特別支援教育の推進	21
17 一貫したキャリア教育の推進	21
18 個人・社会のニーズに対応した就業支援・職業能力開発	23
19 多様な働き方を可能にする社会への変革	24
20 ニート、ひきこもりなど社会生活を円滑に営む上で困難を有する者への対策の推進	25
21 障害のある人の地域生活と就労支援	26
22 多文化共生成熟社会づくり	27
基本課題3 「革新力」と「持続力」を持つ産業をつくる	
23 次世代産業の育成・振興	29
24 緑の投資・技術革新による経済発展の実現	31
25 「知の拠点」の整備と広域研究ネットワークの形成	32
26 戦略的な産業立地の推進	33
27 中小企業の新事業展開・技術開発支援	33
28 産業としての観光の推進	34
29 食料供給力向上に向けた農業の強化	35
30 持続力ある林業・水産業の振興	36
31 県産農水産物の消費拡大	37

#### 基本課題4 地域まるごと「環境本位」の社会にする

3 2	低炭素社会に向けた先駆的取組の推進	3 9
3 3	持続可能な自動車社会と「エコ モビリティ ライフ」の推進	4 0
3 4	ゼロエミッション・コミュニティの実現	4 1
3 5	COP10 の開催地にふさわしい生物多様性保全の取組	4 2
3 6	「あいち森と緑づくり税」を活用した森と緑の整備・保全	4 3
3 7	伊勢湾・三河湾の里海再生	4 4

#### 基本課題5 知恵と感動、にぎわいを生む「魅力」ある愛知をつくる

3 8	あいちトリエンナーレの開催	4 5
3 9	文化芸術を担い、支える人づくりと活躍の場づくり	4 5
4 0	大学との連携等による専門的な能力を持つ人材が活躍できる地域づくり	4 7
4 1	アジア等との経済連携交流の推進	4 8
4 2	東アジアをターゲットとした魅力ある広域観光圏づくり	4 8
4 3	国際イベント・コンベンションの誘致・開催	4 9

#### 基本課題6 コミュニティから中部圏まで「地域力」と「連携力」を発揮する

4 4	中部広域交流圏を支える陸海空の広域交通基盤の整備	5 1
4 5	高次交流拠点機能の形成・強化	5 3
4 6	新しいライフスタイルを実現する集約型まちづくり	5 4
4 7	三河山間地域の振興	5 5
4 8	広域連携の推進	5 6
4 9	地方分権・道州制の推進	5 7
5 0	分権時代にふさわしい「新しい公」の形成	5 7

#### 【参考】構造的課題を受け止める主要政策間の連携

	社会経済の変化の中で顕在化した構造的課題	6 2
①	つながりの再生による安心と信頼の地域社会づくり	6 4
②	若者が意欲を持ち、自立できる社会づくり	6 8
③	未来社会を切り拓くモノづくり産業の創出	7 2
④	豊かな暮らしを創出する産業の振興	7 6
⑤	地球の命をつなぐ先駆的圏域づくり	8 0
⑥	ソフトパワーの発揮による愛知の魅力発信	8 4
⑦	アジアとの一体的発展をめざした交流連携の強化	8 8
⑧	競争力のある中部広域交流圏づくり	9 2

# 年次レポートの作成趣旨と構成

## レポートの作成趣旨

- 本県では、2010年（平成22年）3月に、「安心、希望、そして風格ある愛知へ」を基本方針とする地域づくりの新たな羅針盤として、「政策指針2010-2015」を策定した。政策指針の的確な推進を図っていくため、毎年度、年次レポートを作成し、指針に示されている政策の進捗状況や新たに取り組むべき課題の把握など、指針のさらなる充実や時代変化に応じた見直しを図っていくこととしている。
- 政策指針の推進初年度となる2010年度は、指針に位置づけた政策を実行する具体的な道筋を明らかにしていくため、指針の前半期に当たる2010～2012年度を取組工程を示す実行計画を年次レポートとして作成する。

なお、近年の社会経済の大きな変化の中で、構造的ともいえるような新たな課題が顕在化しており、中長期的な観点から、政策を有機的に連携させながら対応を図っていくことが必要なものもあることから、参考として、政策指針の中の関連する取組・施策を政策パッケージにし、そうした構造的課題への対応を分かりやすく示していく。

## レポートの構成

### ■ 主要政策50の実行計画 [2010 - 2012年度]

当面3か年の政策実行に当たっての考え方を示しつつ、「政策指針2010-2015」で示した50の主要政策について、個々の事業の目標数値なども盛り込みながら、2010～2012年度の3か年の取組工程を明らかにする。

### ■ 〔参考〕 構造的課題を受け止める主要政策間の連携

中長期的観点から、政策を連携させながら取組を進めていく必要がある構造的な課題に対し、政策指針の中の関連する取組・施策を8つの政策パッケージとしてまとめ、めざすべき将来像や展開イメージを示しつつ、また、政策全体の中での県の役割を明確にししながら、対応方向を分かりやすく紹介する。

(各政策パッケージごとに以下の構成で整理)

- 政策パッケージのねらい・目的
- 政策の展開や発展イメージ図
- 取組・施策の全体像
- コラム1（背景にある社会の動きや国の政策など）
- 県の主な取組・施策
- コラム2（県の施策・取組に関わる最近の話題、市町村の取組など）

- ・これ以降、年号表記を西暦で統一
- ・右肩に※が付いている用語は解説を掲載